

## 四季彩り

2019年12月ごろから中国で問題になっていた新型コロナウイルス(新型コロナウイルス)はその後、瞬く間に世界を席卷、患者は今も増え続け、株式市場は急落しています。今回は新型コロナウイルスの世界経済や株式市場への影響について考えてみます。

まず、新型コロナウイルスがどこまで続くかです。ウイルスの勢い自体については仮置きですが、4月ごろには落ち着いてくると考えています。気温上昇や中国の政府チームのト

西村証券チーフストラテジスト

門司 総一郎

## 新型コロナウイルスと世界経済

ップが4月末までの制御に自信を見せているとの報道があることが理由です。

仮にそうならば流行期間は



3カ月程度になるので、影響は長期にわたり世界の経済や株式市場を抑制するものにはならないと見ています。

このシナリオであれば新型コロナウイルスが世界経済や株式市

場に与える影響は、短期的には大きくても一時的となりませんが、一つリスクがあります。

それは、中国の債務問題に飛び火することです。現在中国は大きな債務問題を抱えていると言われています。影の銀行と言われる地方政府の下部組織、民間企業の社債、さらには住宅ローンなどさまざまなどころで債務の焦げ付きが発生している模様です。

今回の新型コロナウイルスの影響で不良債権問題が一気に明るみに出れば、これが中国経済にとって長期的に大きなダメージとなる可能性があります。その場合、世界の経済や株式

市場も低迷を余儀なくされるリスクがあります。

経済面だけではありませぬ。習近平国家主席は、香港でのデモ、台湾の総統選挙、米国との貿易摩擦、そしてこの新型コロナウイルスと「黒星」続きます。国内から大きな批判を受け求心力が揺らぐ可能性もあります。

その場合、中国の政治が不安定化することが考えられます。このように、新型コロナウイルスの問題は経済分野以外でも、中国に影響を与える可能性があります。経済的な影響だけでなく、さまざまな観点から見る必要があると言えます。